



すぎ たに いく お
杉 谷 育 生

しん わ かい
津 和 会

新横山目細線の事業計画着手を早急に

問 この道路は路線認定もされ、津市土地開発公社に用地の先行買収も依頼されている道路でもある。現在、大型車両が遠回りせざるを得ず、通行に不便を感じているが、この道路が開通すれば、県道間を結ぶバイパス道路にもなる。関係者も協力的である中、市の今後の意気込みを問う。

答 現在、芸濃地区においては平成21年度から着手している追上響野線が24年度に完了し、大坪線についても25年度の完了を予定している。また、新たに久保垣内4号線にも着手している状況である。

新横山目細線の整備については、今後の久保垣内4号線の進捗状況や道路整備計画等も踏まえながら、検討していく。

また、新横山目細線は、県道大山田芸濃線に隣接している区間があるが、県道拡幅の際、横山池の堤の一部を移設したこともあり、新横山目細線について用地買収により道路用地を確保するのか等、費用の比較も行い、いかに安くできるかということも今後の検討課題として考えていく。

●その他の質疑・質問●

- 公務災害の責任の所在について市長・教育長の認識は
- 農地災害の申請・請求・支払を個人制度に
- 総合支所の地域インフラ維持・補修事業は効率よく執行を
- 郵便はがきの保有枚数、くるりんペーパー事業について、監査委員指摘事項を早急にすべき



▲改良が待たれる新横山目細線



こ ばやし たか とら
小 林 貴 虎

しみんくらぶ
市民クラブ

事業所内保育所設置促進に向けての取り組み

問 経済成長戦略第3弾の骨子の一つ女性の社会進出促進に向けて待機児童の解消を国は打ち出している。働くために子どもが預けられるという最低条件が既に満たされている津市として一歩前進し、より母親にとって働きやすく、子どもにとって母親とより長く時間を共有できる環境を整備する為に事業所内保育所設置をさらに促進すべきと考える。津市の見解はいかがか。

答 事業所内保育所についての相談窓口は県の労働局となっており、基準を満たせば、労働局から運営費等の補助を受けることができるが、運営経費や、保育士の確保というのが大きな問題であると考えている。平成27年度の法改正以降は、事業所内保育所も地域型保育給付として市町村から給付費が出ることになり、国の基準を踏まえ、市が認可の基準や運営の基準を独自に定めることになる。事業所内保育所は、子どもを預かり、働きやすい環境をつくるという意味では大きなプラスになるものであり、保育所に限らず、子どもが預けられる場所をつくるのが市の目指すところであり、事業所内保育所の活用は、十分に考えられることである。

●その他の質疑・質問●

- 教育再生実行会議は小学校に英語の専任教員の配置を提言している。英語を使えない担任が無理に英語を教えるより児童の為になると思うが実施の見込みは
- 地域経済の成長と地方自治体の役割について、津市の観光客流入の取り組み、中小企業のODAを活用した事業展開及びPFI事業の取り組み



▲事業所内保育所設置の促進を
(三重大学さつき保育園)